

令和5年3月6日（月） 午後3時頃～@佐渡市議会

◎佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想の実現に向けて
【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案
(1) 拉致問題等啓発推進条例（仮）の制定について

(2) 持続可能な財政運営について

- ① 当初予算512.2億円の増額の要因と持続可能性は
- ② 新ポスト財務部長の役割とは

(3) 地域循環共生圏・脱炭素先行地域について

- ① 地域循環共生圏の創造による持続可能な島づくり推進条例の詳細は
- ② 地域循環共生圏を生かした観光地域づくりとは
- ③ デジタル田園都市国家構想との連動は

(4) 防災減災・国土強靱化対策について

- ① 停電の傾向と対策は
- ② 断水の傾向と対策は
- ③ 植えない森づくり、里山資本主義的ライフスタイルの推奨を
- ④ ウッドサイクル事業の推進、「木（もく）の島づくり」へ



http://hiroshimurooka.com/documentandscript_202302

【二次元コード（ごま塩のような正方形）の読み取り方】

- ① スマートフォン・タブレットのカメラか二次元コード読み取り機能を立ち上げる。
- ② 表示されたアドレス（http://・・・・・・）等の文字列を触ってみる。

令和5年2月定例会 一般質問資料

三度のメシより佐渡が好き！！！！ 政風会 代表 室岡啓史

▼拉致問題等啓発推進条例（仮）の制定について

◆新潟市議会、拉致啓発条例を可決 28日施行へ

北朝鮮による拉致問題の早期解決と風化防止を推進する条例案が23日午後、新潟市議会の12月定例会本会議で全会一致で可決、成立した。 28日付で公布、施行される予定。拉致問題の啓発条例は東京都足立区、江戸川区に続いて全国で3例目となる。

条例案の特徴は、政府が認定した拉致被害者だけでなく、拉致の可能性を排除できない特定失踪者も含むこと。拉致被害者や特定失踪者に関して、市が積極的に啓発活動を行って市民の理解を深め、拉致問題の早期解決を後押しすることを目的に掲げている。 さらに啓発活動を進めるため、財政上の措置を講じるよう市に求めている。

市議会では昨夏、条例制定に向けて全市議50人が党派を超えて議員連盟を結成し、素案づくりを進めてきた。今年9月、素案がまとまったのを受けて条例検討会（座長・佐藤豊美市議）が設置され、12月定例会に議員提案の形で上程された。

同市では昭和52年11月、横田めぐみさん（58）＝拉致当時（13）＝が拉致され、45年たった今も帰国を果たしていない。また、新潟県出身の特定失踪者は6人おり、いずれも行方が分かっていない。

拉致問題の啓発を進める条例は、足立区が昨年7月、江戸川区が同11月に施行している。

【出典】2022/12/23 産経新聞オンラインニュース
<https://www.sankei.com/article/20221223-PWBRJ53FKNM2DGLAD5NTKQYNUM/>

新潟市拉致問題等啓発推進条例

（目的）

第1条 この条例は、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律（平成18年法律第96号。以下「法」という。）第3条の規定に基づき、北朝鮮による拉致被害者の問題、北朝鮮による拉致の可能性を排除できない事案その他北朝鮮当局による人権侵害問題（以下「拉致問題等」という。）について、市民に対し積極的な啓発を行うことにより、拉致問題等の風化防止を図り、もって拉致問題等の早期解決に資することを目的とする。

（市の役割）

第2条 市は、拉致問題等に関する市民の認識を深めるため、国と連携を図りつつ、拉致問題等の積極的な啓発を行うよう努めるものとする。

2 市は、前項に規定する啓発を効果的に進めるため、推進体制の充実に努めるものとする。

3 市は、法第4条第2項に規定する北朝鮮人権侵害問題啓発週間において、その趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めるものとする。

（財政上の措置）

第3条 市は、拉致問題等について市民の認識を深めるため、啓発の推進に必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

（委任）

第4条 この条例に定めるもののほか、拉致問題等の啓発に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

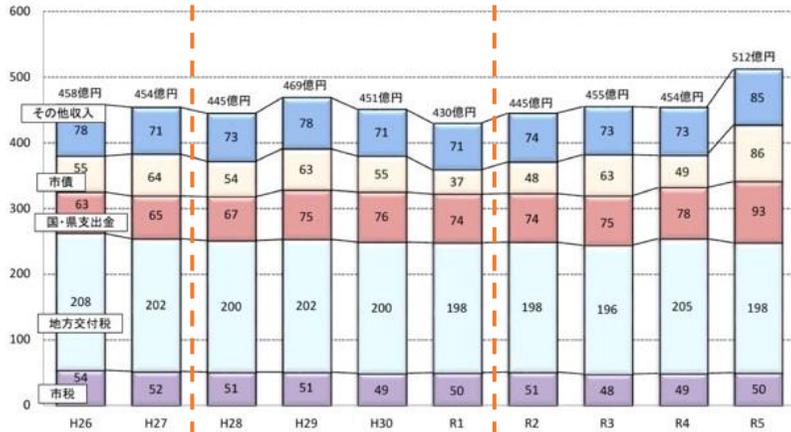
【出典】新潟市議会：新潟市拉致問題等啓発推進条例
https://www.city.niigata.lg.jp/shigikai/index_kaikaku/rachi.files/rachimondai-joubun.pdf

▼持続可能な財政運営（当初予算512億）

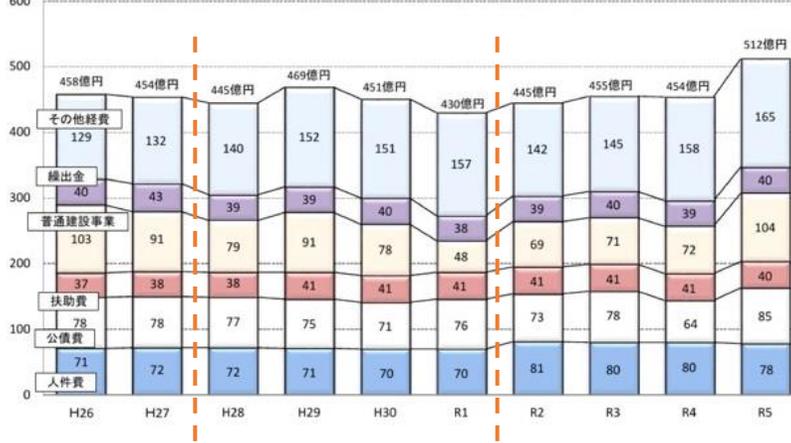


◆一般会計当初予算の推移

歳入 ⇒地方交付税、市税は横ばい～漸減している。
⇒億円を万円に読み替えると佐渡家の家計に見えてくる。



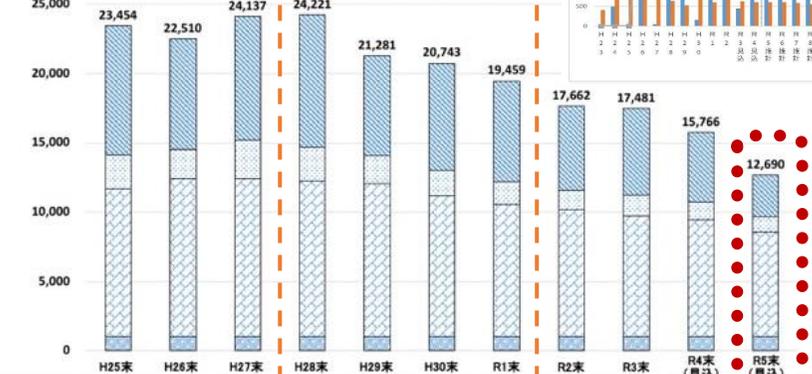
歳出 ⇒人件費は令和2年度から会計年度任用職員制度が始まり、
臨時職員分＝物件費が人件費に組み込まれ80億円程に。



【出典】令和5年度当初予算の概要（32～33ページ）
<https://sado-city.backshelf.jp/bookview/?fileseq=89&page=34>

◆基金残高と市債残高の見込

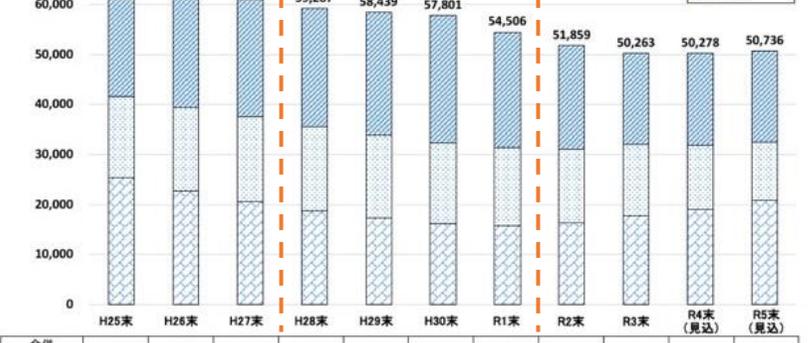
基金残高 ⇒残高が減少している。
(特に財政調整基金)



基金種別	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末	R1末	R2末	R3末	R4末(見込)	R5末(見込)
財政調整基金	9,342	7,972	8,918	9,547	7,178	7,740	7,262	6,082	6,266	5,040	3,040
減価基金	2,445	2,105	2,811	2,435	2,054	1,802	1,608	1,409	1,470	1,287	1,083
その他特定目的基金	10,636	11,403	11,378	11,207	11,018	10,170	9,558	9,139	8,713	8,406	7,563
定額運用基金	1,030	1,031	1,031	1,031	1,031	1,031	1,032	1,032	1,032	1,032	1,005

市債残高

財政調整基金は令和5年度当初予算編成に、
約21.6億円切り崩している。
⇒借金は順調に減少している。



市債種別	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末	R1末	R2末	R3末	R4末(見込)	R5末(見込)
合併特例債	19,578	22,126	23,599	23,698	24,508	25,460	23,161	20,714	18,263	18,373	18,208
臨時財政対策債	16,258	16,726	16,986	16,800	16,533	16,134	15,490	14,781	14,217	12,924	11,630
その他債	25,360	22,763	20,543	18,789	17,398	16,207	15,855	16,364	17,782	18,981	20,898

【出典】佐渡市財政計画（令和4年度～令和13年度）【概要版】
<https://www.city.sado.niigata.jp/uploaded/attachment/31993.pdf>

◆佐渡市地域循環共生圏の創造による

持続可能な島づくり推進条例の制定について

SDGs 未来都市等に選定された自覚を深め、多様なパートナーシップのもと、島全体でSDGsを推進し、自然豊かな佐渡の特徴や地域資源を有効活用しながら歴史・文化と環境・経済・社会を循環させ、持続可能な島づくりを実現していくための共通の指針として、条例を制定するもの。（※議案一覧より転載）

SDGs 未来都市佐渡オリジナルロゴマークを決定しました

佐渡市では、令和4年5月に内閣府からSDGs未来都市に選定されるなど、誰もが安心して暮らせる島づくりの実現を目指しています。

このような取組を推進するにあたり、佐渡市におけるSDGs未来都市をテーマに未来の佐渡市を想起させるオリジナルロゴマークのデザインを募集したところ、全国から142種の応募をいただきました。市民投票等を経て総合的に審査を行った結果、下記作品をSDGs未来都市佐渡オリジナルロゴマークに決定いたしました。



SDGs 未来都市
佐渡市



佐渡SDGsパートナー
Sado SDGs Partner

SDGs 未来都市
佐渡市

団体名
認定日 令和 4 年 12 月 2 日
佐渡市

佐渡産木材を活用した盾



佐渡SDGs パートナー

持続可能なまちの実現に向けて、佐渡市とともにSDGsの取り組みを実施していただける企業、NPO、団体の方々を募集します！

パートナーとして登録されるとこんなメリットが

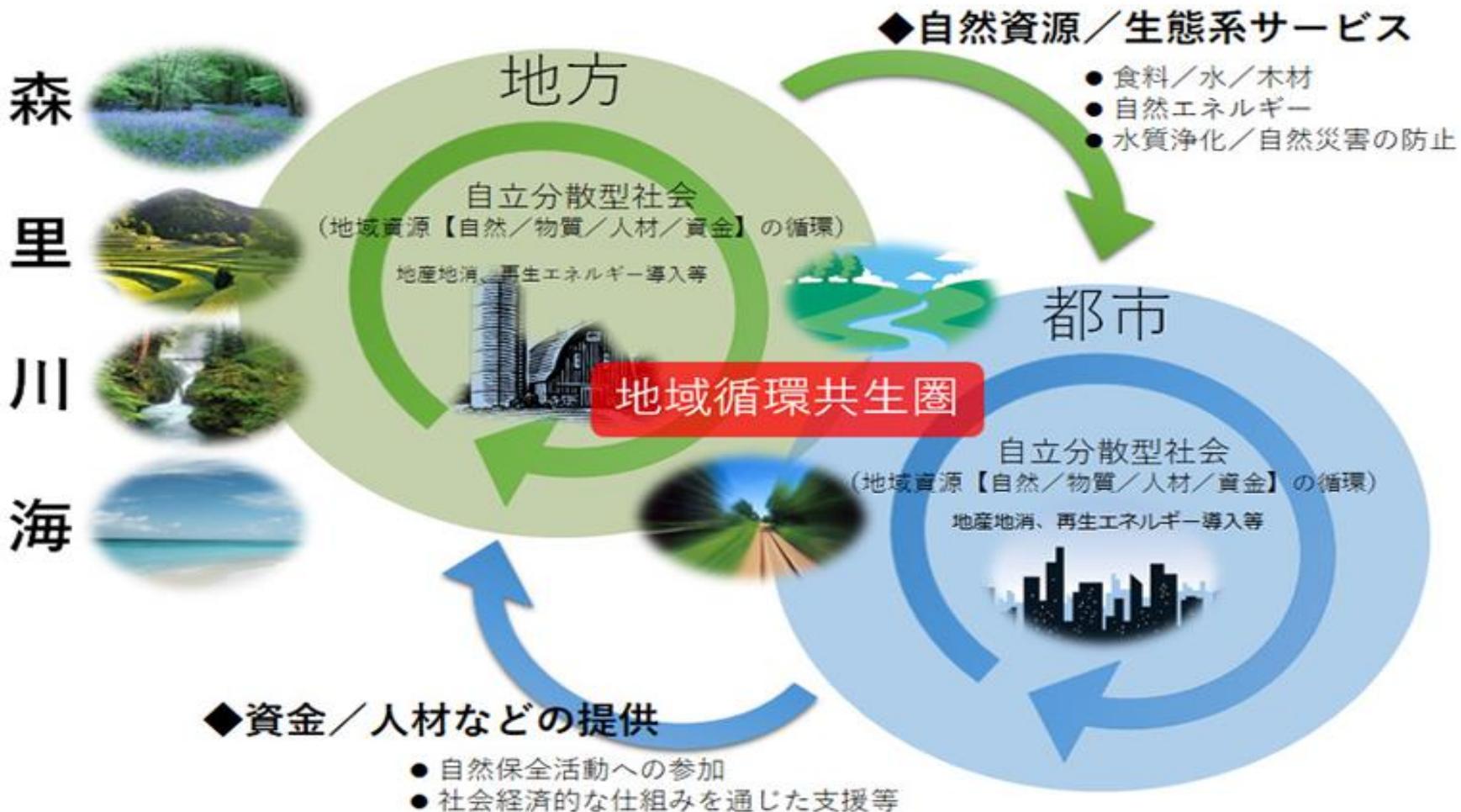
- ・市のホームページで、SDGsの取り組みをPRでき、企業イメージや信頼性の向上、社員の意識向上、人材確保に効果が期待できます！
- ・パートナー同士の情報交換・連携をサポート！
- ・「佐渡市SDGsパートナー」認定証を交付します！

お問合せ・お申込み
佐渡市 企画財政部 総合政策課
TEL 0259-63-3802
E-mail : kikaku@city.sado.niigata.jp

【出典】SDGs 未来都市佐渡オリジナルロゴマークを決定しました
<https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2005/47048.html>

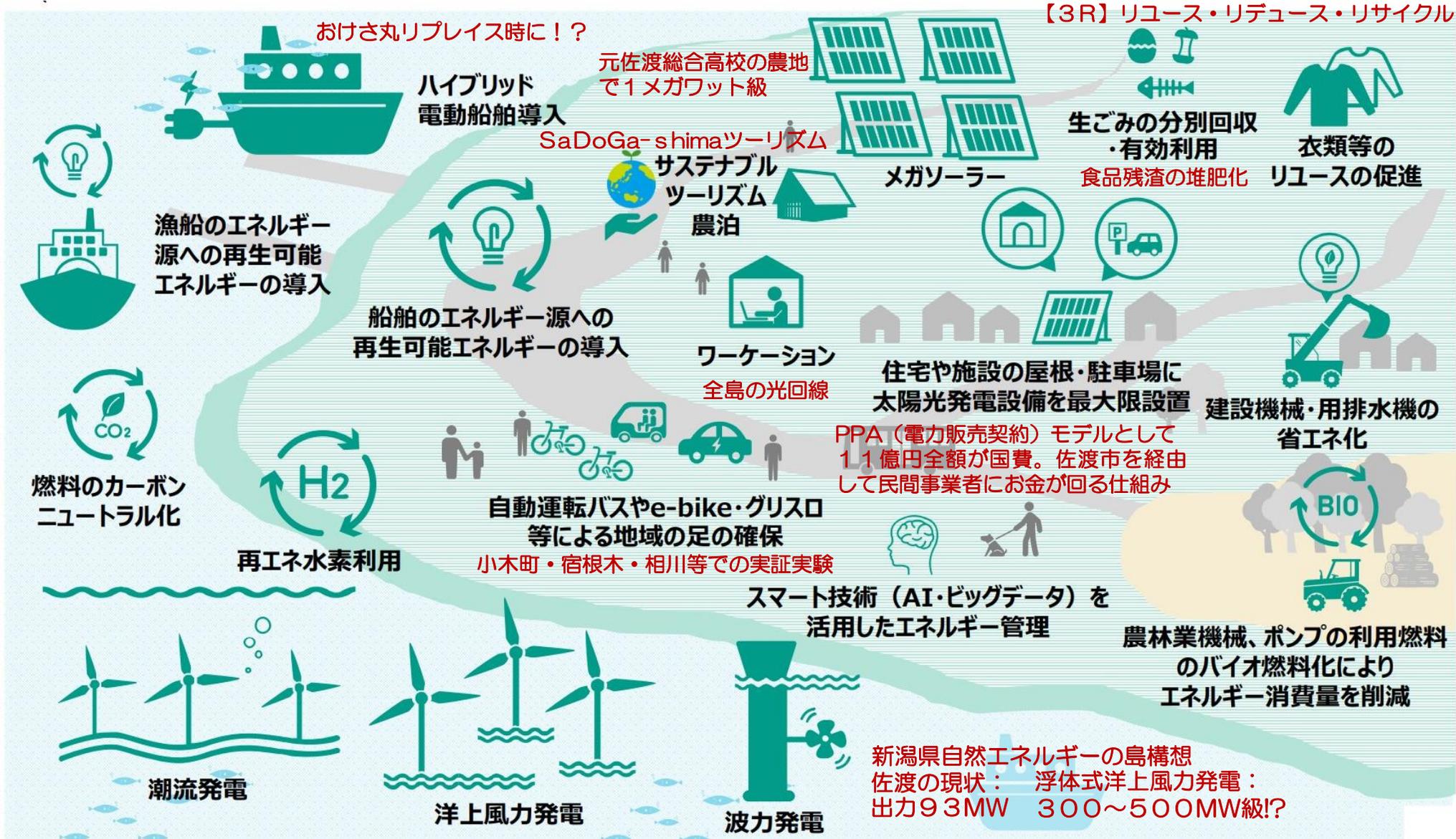
【出典】佐渡SDGsパートナーの募集について
<https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2005/41476.html>

◆森里川海をつなぎ、支える取組（地域循環共生圏～地域が自立し、支え合う関係づくり～）とは・・・地域の資源や目の前にあるものの可能性を考え直し、その資源を有効活用しながら、環境・経済・社会を良くしよう、資源を融通し合うネットワークをつくっていこうというものです。その視点は、エネルギー、交通・移動システム、災害に強いまちづくり、衣食住の日々の生活者としてのライフスタイル等があります。



【出典】森里川海をつなぎ、支える取組（地域循環共生圏）<https://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/kyouseiken.html>

▼脱炭素先行地域【離島モデル】



【出典】地域脱炭素ロードマップ【概要】の離島モデルに加筆 https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/datsutanso/pdf/20210609_chiiki_roadmap_gaiyou.pdf

▼デジタル田園都市国家構想との連動



◆デジタル庁

内閣官庁デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、内閣府地方創生推進室との連携の下、デジタル田園都市国家構想を進めています。

デジタル田園都市国家構想とは、
心豊かな暮らし
Well-Being
 と
持続可能な
環境・社会・経済
Sustainability
 を実現していく構想です。



【出典】 デジタル庁 デジタル田園都市国家構想に加筆 https://www.digital.go.jp/policies/digital_garden_city_nation/

▼停電の傾向と対策の分析は？その①



◆令和4年12月に発生した大雪による停電被害状況

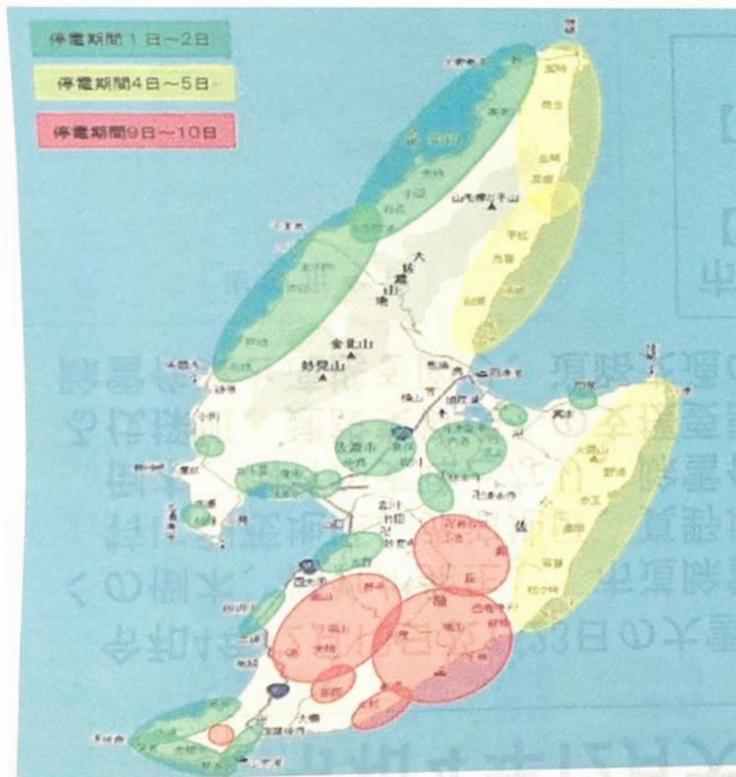
12月18日及び23日の大雪に伴い、生活道路や電線等に倒木、倒竹が発生したことにより、市内138地区、一日最大で7,800戸(契約口数)、延べ17,200戸(契約口数)の広範囲で停電が発生、最長で10日間停電が続いた地区があった。

停電等の復旧の見通しが立たず、避難生活が長期化したことで12月22日から27日まで「災害救助法」が適用となった。

12月18日から27日まで9か所の避難所を開設し、延べ168人が避難した。また、佐渡市と災害時の協定を結んでいるホテル等8施設に延べ114人が自主避難した。

停電等による入浴困難者を対象に、市内のホテル、旅館や公共入浴施設等の15か所で無料入浴を実施し、延べ3,251人が利用した。

市内停電エリア



東北電力被害調査状況



資料No. 1

【出典】2023年1月19日(木) 議員全員協議会配布資料

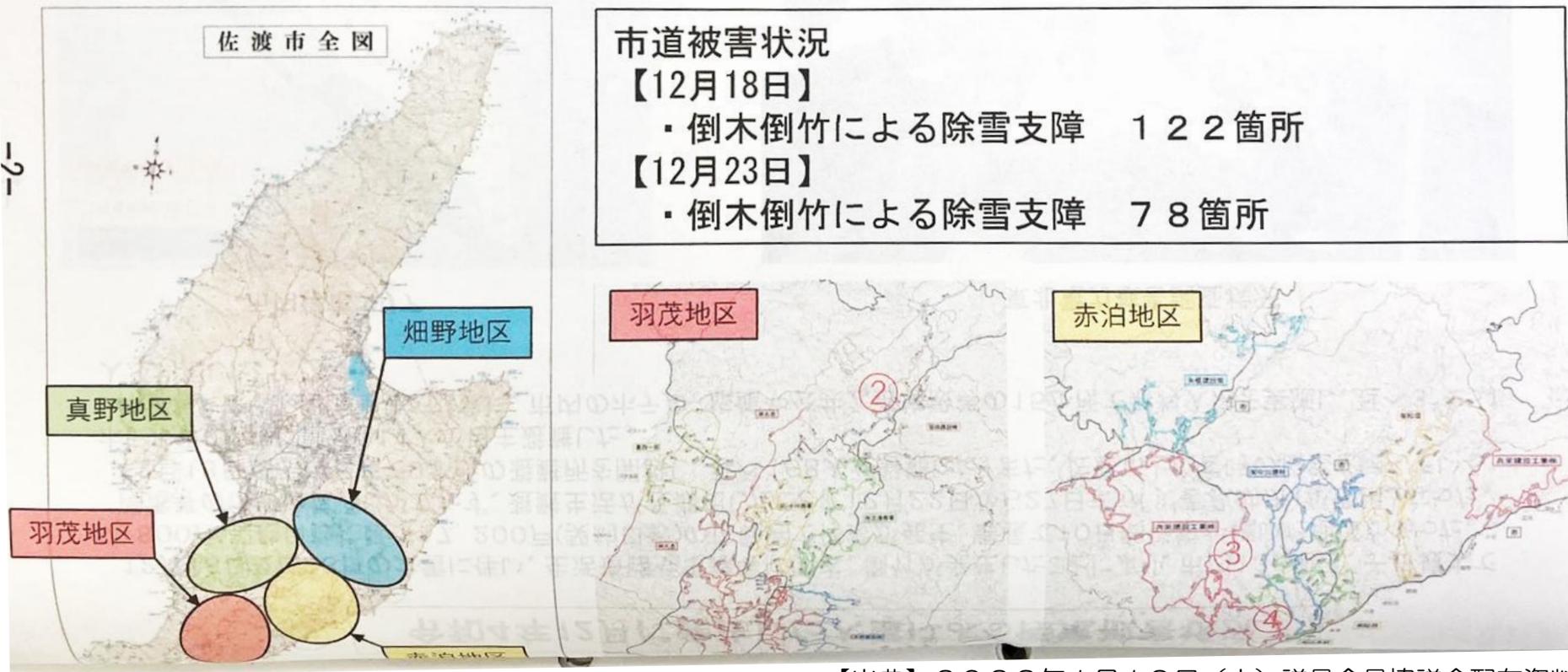
▼停電の傾向と対策の分析は？その②



◆令和4年12月大雪に伴う市道倒木被害状況

令和4年12月18日及び23日の大雪において、島内全域に湿った雪が降雪し、非常に多くの倒木、倒竹が発生し、市道除雪に支障をきたした。

特に羽茂地区、赤泊地区、真野地区、畑野地区と南佐渡山間地区に被害が集中した。倒木、倒竹が支障となり、除雪作業が進まず孤立化する状況にあったため、職員による伐採班、建設業協会への支援要請等により、延べ100人以上の伐採作業員を動員し、除雪作業と連携を図り、道路交通の確保と孤立化集落の解消に取り組んだ。

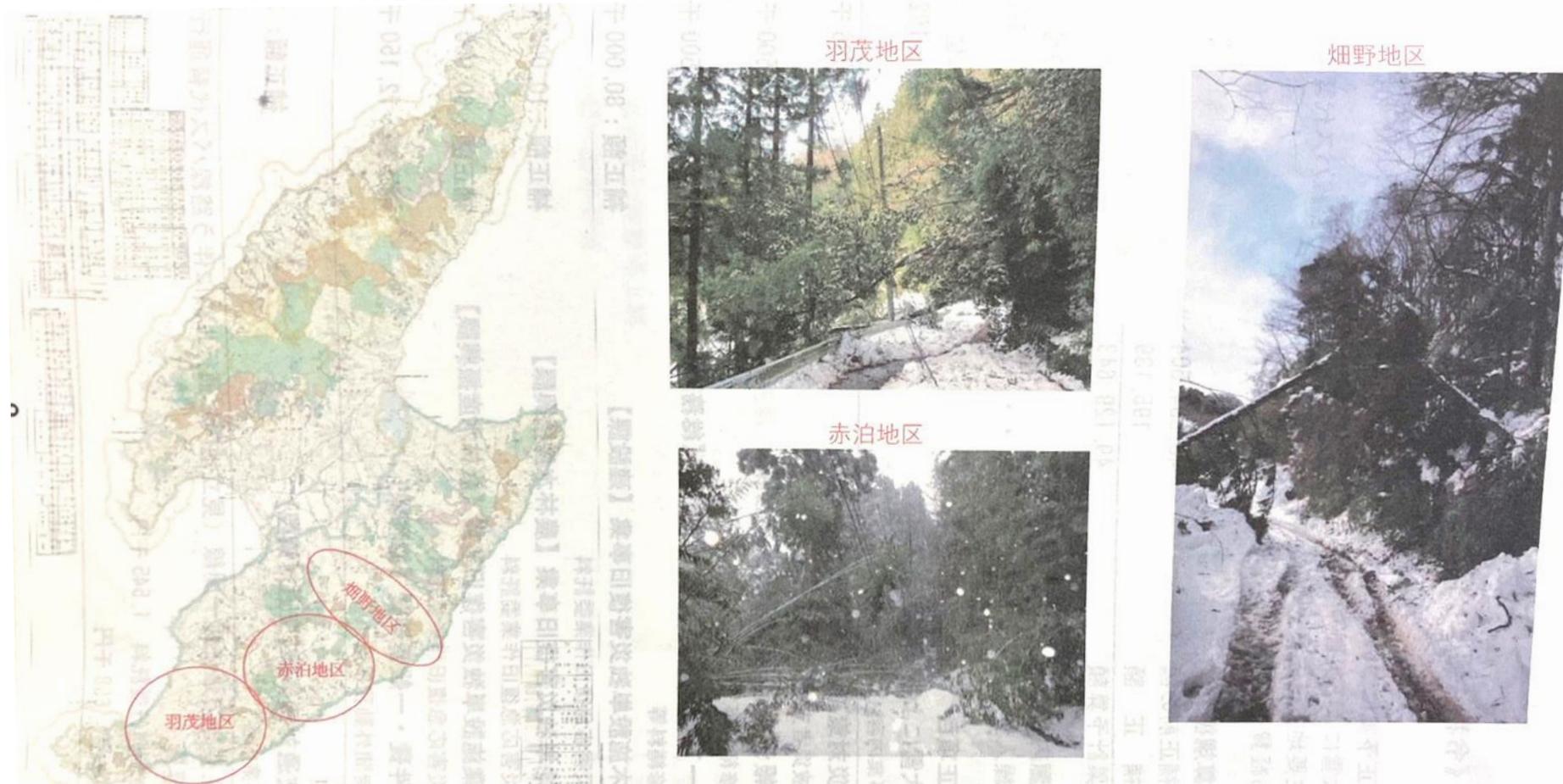


【出典】2023年1月19日（木）議員全員協議会配布資料

▼停電の傾向と対策の分析は？その③



◆令和4年12月大雪に伴う農林道の倒木被害状況



■農林道については降雪により入口付近までしか到達できておらず、全容ははまだ掴みきれていない。

- ◇佐渡市の管理する林道 132路線 総延長 約469km
 - ◇佐渡市の管理する農道 68路線 総延長 約55km(その他集落管理、土地改良区管理の農道多数あり)
- 今回の災害により農林道ほぼ全路線において倒木倒竹被害があるものと想定される。
今後ドローンによる被害状況調査を実施予定。 【出典】2023年1月19日(木) 議員全員協議会配布資料

▼自助努力でできる対策【3策】の情報共有



◆寒波の影響は、雪害だけではなく、命の水を運ぶ水道にも及ぶということ。

水は凍ると体積が増すため、水圧のかかった満水の水道管支管（細い管）の破損につながり、氷が解けた後に各所で破損部分から漏水してしまいます。それが同時多発することで、貯水池の水位が下がり、断水せざるを得ない状況へと発展する場合があります。最低気温がマイナス2℃～4℃を下回ると、水道管が凍結するようです。そこで、自助努力でできる対策を3つ共有させていただきます。

【1】寒波襲来の夜には水抜きをする。

- ①水栓の元栓をゆっくり閉める。※赤丸部分
- ②家の屋内外の水道を全て出す。



※水道管の破損を完全に防げるものではありません。

※家屋内の水抜き栓（不凍栓）や寒冷地仕様の水道器具設置も検討ください。

- ・夜間の気温が最も下がるため、寝ている間の夜間だけでも意味があります。
- ・水のちょろちょろ出しは一定の効果はあるものの、気温が低すぎれば凍結する可能性があります。また、節水に逆行し、多くの世帯が同時に行うことで計画断水をせざるを得なくなる可能性もあります。

【2】お風呂に常に水を溜めておく。

- ①お風呂にお湯を張って入る。
- ②次にお風呂に入る直前に水を落とす。



・循環式（追い炊き機能付き）のお風呂は、水を抜いてしまうとパイプ内の水が凍結する可能性があるようですが、水を残しておけば凍結防止となり、パイプ破損を未然に防ぐことができます。

・どんなタイプのお風呂であっても、万が一、断水した際にはトイレや洗濯等の生活用水に活用することができます。

・寒波襲来時の風呂場は、湿気は換気扇を回して取り、窓は極力開けない方が浴室内水栓等の凍結防止につながり安全です。

【3】飲料・料理用の水はポリタンク等に溜めておく。

- ・注ぎ口のある18リットルポリタンクやペットボトルに水を溜めておく。
- ・水道水でも良いですが、佐渡では清水を汲むことをおすすめします。
- ・冬季は水温が低いいため、雑菌が少ないとされますが、煮沸して飲むことをおすすめします。
- ・私は、佐渡市羽吉の羽黒神社前の箱根清水をポリタンクで汲んで、常飲しております。
- ・「佐渡の湧き水」という書籍があります。



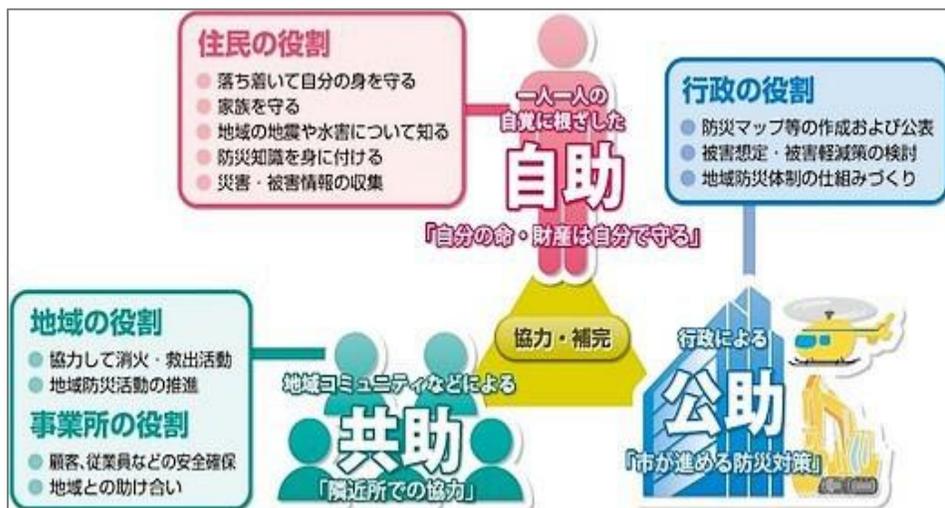
▼①自助・②共助・③公助の優先順位



◆2018.7.24水害と1.24寒波および2022雪害による大規模停電等の各種災害を乗り越えて
災害による直接的な死者を一人も出さなかったことは、不幸中の幸いであった。複数の災害により、いつどこで起こるかも分からない大地震等、本当の意味での大災害への備えが必要と再認識する機会となった。

◆①自助・②共助・③公助という優先順位

- ・災害対応力を高め、連携することが大切。発災時の割合は自助7：共助2：公助1と言われる。
- ・自主防災組織やWEB、SNSを活用すべし！
- ・各種WEBのデータは、印刷して配布が必要！



【出典】【あなたの為の私の思いと願い】 konokuni-wo-mamoritaiのブログ
<https://ameblo.jp/konokuni-wo-mamoritai/>

◆メディアミックス戦略について

佐渡市が活用できるメディアを駆使して情報発信すべき！
『もうその情報知っているよ』という市民の方を一人ずつ増やしていく努力につきると考える。



【出典】 <http://www.don-guri.com/donguri-magazine/01/>

メディアミックス：足し算
ターゲットにいかにも多く情報を届けるか
⇒メディア配分を考えること

▼ウッドサイクル事業、木(もく)の島づくり



◆木材の利用の促進について

日本は国土の2/3を森林が占める世界でも有数の森林国。その森林の約4割は人が木を植えて育てた人工林です。戦後に造林された多くの人工林が本格的な利用期を迎えており、資源量は年々増加していますが、木材の利用は十分に進んでいないのが現状です。

「伐って、使って、植えて、育てる」という人工林のサイクル。CO₂の吸収や国土を災害から守るといった森林の多面的機能を発揮させるためにも、木材を使って森を育てることは大切。人工林を伐って使うとともに、植えて育てることを進めていくことで、持続的なサイクルが保たれます。

二酸化炭素を吸収し、酸素を放出



森林環境譲与税の活用、2050年カーボンニュートラル、佐渡市の木アテビの利活用、炭素クレジットの推進、ウッドショックのピンチをチャンスに！、防災・減災



植えない森づくり、里山資本主義的ライフスタイルの推奨
ウッドサイクル事業の推進、「木(もく)の島づくり」
というブランディング

バイオマス発電380kwの建設を想定？

【出典】林野庁 木材の利用の促進について に加筆
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuzairiyousokusin.html>